

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年8月18日(2022.8.18)

【公開番号】特開2021-45242(P2021-45242A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2019-168064(P2019-168064)

【国際特許分類】

A 6 1 F 9/008 (2006.01)

10

【F I】

A 6 1 F 9/008 1 2 0 A

A 6 1 F 9/008 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和4年8月9日(2022.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者眼の組織に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置であって、

治療レーザ光を出射する治療レーザ光源と、

治療レーザ光を走査し、患者眼の組織上で治療レーザ光が照射される位置を切り替える走査部と、

制御部と、

を備え、

前記制御部は、

30

治療レーザ光を照射する複数のスポットの配列パターン、および、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を設定するパターン設定ステップと、

前記パターン設定ステップにおいて設定された、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を、治療レーザ光の照射前にユーザに表示する照射順表示ステップと、

を実行することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項2】

請求項1に記載のレーザ治療装置であって、

治療レーザ光が照射される位置を示すエイミング光を出射するエイミング光源をさらに備え、

前記走査部は、治療レーザ光およびエイミング光を走査し、患者眼の組織上で治療レーザ光およびエイミング光が照射される位置を切り替えると共に、

前記制御部は、

少なくとも前記走査部の駆動を制御することで、設定された前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々にエイミング光を順次照射するエイミング光照射ステップを実行し、

前記エイミング光照射ステップにおいて、エイミング光を用いて前記照射順表示ステップを実行することを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項3】

40

50

請求項 2 に記載のレーザ治療装置であって、
前記制御部は、前記エイミング光照射ステップにおいて、
前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットのうち、1つまたは複数の第1スポットと、前記第1スポット以外の第2スポットとの間で、エイミング光の照射方法または照射の有無を異ならせると共に、
エイミング光の照射中に、前記複数のスポット中の前記第1スポットを、設定されている前記照射順に従って順次切り替えることを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のレーザ治療装置であって、
エイミング光が照射される小スポットが、前記第1スポットの領域内に X 個、前記第2スポットの領域内に Y 個 (Y > X) 設定されており、
前記制御部は、前記エイミング光照射ステップにおいて、前記第1スポットおよび前記第2スポットの各々の領域内の複数の前記小スポットに、エイミング光を繰り返し照射すると共に、
前記第1スポットを、設定されている照射順に従って順次切り替えることを特徴とするレーザ治療装置。

【請求項 5】

患者眼の組織に治療レーザ光を照射するレーザ治療装置によって実行されるレーザ治療制御プログラムであって、
前記レーザ治療装置は、
治療レーザ光を出射する治療レーザ光源と、
治療レーザ光を走査し、患者眼の組織上で治療レーザ光が照射される位置を切り替える走査部と、
制御部と、
を備え、
前記レーザ治療制御プログラムが前記制御部によって実行されることで、
治療レーザ光を照射する複数のスポットの配列パターン、および、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を設定するパターン設定ステップと、
前記パターン設定ステップにおいて設定された、前記配列パターンに含まれる前記複数のスポットの各々に対する治療レーザ光の照射順を、治療レーザ光の照射前にユーザに呈示する照射順呈示ステップと、
を前記レーザ治療装置に実行させることを特徴とするレーザ治療制御プログラム。

20

30

40

50